

海洋理工学会平成23年度秋季大会プログラム

期日：平成23年10月17日（月）学会賞受賞記念講演、シンポジウム、イブニングセッション
平成23年10月18日（火）一般講演・ポスターセッション
会場：京都大学百周年記念会館

10月17日（月）

学会賞受賞記念講演

10:30-11:00 H1 [堀田記念奨励賞]

海洋炭素循環モデルを用いた深層域における動物プランクトン現存量の評価

茂木博匡（水研センター日本海水研）

11:00-11:30 H2 [業績賞]

深海巡航探査機「うらしま」の誕生から実用化まで

月岡 哲（海洋研究開発機構）

11:30-13:00

昼休み

シンポジウム「福島第一原子力発電所事故による海域の放射能拡散」

13:00-13:10 主旨説明

中田喜三郎（海洋理工学会会長）

13:10-13:50 S1 福島第一原発事故による海洋汚染とその影響について

青野辰雄（放射線医学総合研）

13:50-14:30 S2 東北地方太平洋沖地震直後の三陸沖、福島第一原子力発電所沖の水温、塩分、海流
観測結果

落合 健（海上自衛隊）

14:30-15:10 S3 福島沖海域モニタリングについて

河野 健（海洋研究開発機構）

15:10-15:30

休憩

15:30-16:10 S4 福島沖の海洋拡散シミュレーション

津旨大輔（電力中央研究所）

16:10-16:50 S5 水圏環境における放射性核種移行モデルへの生態系の導入-汽水湖尾駁沼における放射
性ヨウ素移行を対象としたケース-

植田真司（環境科学技術研究所）

16:50-17:30 総合討論

17:30-19:00 **イブニングセッション**（カンフォーラ）

10月18日（火）

10:20-11:40 一般講演1「メタンハイドレート・生態系モデル」 座長 中田喜三郎（名城大）

A01 メタンハイドレート開発においてメタン等が海洋生物に与える影響の評価

○平田敦洋、畠山孝（エンジニアリング協会）、鋤崎俊二・鈴木信也（日本海洋生物研究所）
荒田直（石油天然ガス・金属鉱物資源機構）

A02 メタンハイドレート生産水の放出影響について

○石原靖文、眞岩一幸（日本エヌ・ユー・エス）、平田敦洋、畠山孝（エンジニアリング協会）、
矢部いつか（石油天然ガス・金属鉱物資源機構）

A03 深海域から漏洩したメタンガスの挙動を予測するモデル（MEGADEEP）の開発

○鋤崎俊二、江里口知己（日本海洋生物研究所）、中田喜三郎（名城大学）、平田敦洋（エン

ジニアリング協会)、荒田直(石油天然ガス・金属鉱物資源機構)

A04 東京湾におけるデカブロモジフェニルエーテルの生態リスク

○大野創介、恒見清孝、川本朱美、石川百合子、堀口文男(産総研)

11:40-13:00 昼休み

13:00-14:40 一般講演 2「沿岸環境」 座長 植田 真司(環境科学技術研究所)

A05 インドの海洋観測衛星 Oceansat-2 搭載マイクロ波散乱計で観測された海上風ベクトルの精度評価

○江淵直人(北大低温研)

A06 実験水槽におけるクロロフィル-a の変動解析

○畑 恭子(いであ)

A07 東日本大震災後の釜石周辺の沿岸域環境に関する調査研究

○山本光夫、北澤大輔、加藤孝義、小松田真二、多部田茂(東京大)

A08 無人観測艇による福島沖海洋表層モニタリング計画

○千賀康弘(東海大海洋)

A09 海中騒音とジュゴンの鳴音

○溝端紀子(京大院)、市川光太郎(地球研)、荒井修亮(京大院)、加藤秀弘(東京海洋大)

14:40-14:50 休憩

14:50-16:30 一般講演 3「機器開発」 座長 月岡 哲(海洋研究開発機構)

A10 魚類用高精度バイオテレメトリーシステムの開発

○新家富雄、鴨志田隆(SIT)、市川光太郎(地球研)、三田村啓理、荒井修亮(京大院)

A11 海底地震計用耐圧容器(ガラス球)の貫通孔周辺に発生したクラックの原因究明

○前田洋作、佃薫、寺田育正、白井太郎、小松和香、西條暁里(日本海洋事業)、
伊藤誠(海洋研究開発機構)

A12 深海探査機用無線通信装置の開発

○菅澤 誠(海洋研究開発機構)

A13 慣性航法装置の小型・高性能化

○石橋正二郎(海洋研究開発機構)

A14 レーザーによる海中精密距離測定を試み

○吉田弘、石橋正二郎(海洋研究開発機構)、齋藤隆、岡本章吾、出納基、箱山孝司、
鈴木稔(三菱電機特機システム)